

報道関係者 各位

2014年6月25日
大塚国際美術館

《夏の特別企画！》

閉館後の大塚国際美術館で体験する
暗闇のナイトミュージアム
『怖い絵』ツアー



大塚国際美術館（館長：大塚一郎、所在地：徳島県鳴門市）で2009年の開始から人気の「怖い絵ツアー」。“恐怖”という切り口で絵画を読み解く美術エッセイ『怖い絵』シリーズ（著者：中野京子/角川文庫）に登場する作品を、展示室をめぐりながら解説をしています。

今回は暗闇のナイトミュージアムと題し、閉館後に館内の照明を落として、案内人が持つ懐中電灯の灯りで作品を鑑賞します。ゴヤの家《黒い絵》など、絵そのものの見た目の怖さだけではなく、背景に潜むゾッとするような名画も紹介。エッセイを読んだ人はもちろん、読んでいない人も楽しめるコワ〜イ内容です。

いつもとは違った暗闇の美術館で、名画に隠された“怖さ”をあなたの目で確かめてみませんか？

【実施日】2014年8月9日（土）・10日（日）

【開始時刻】17：30～（入館は16：00まで）

【所要時間】約50分

【定員】100名 ※先着完全予約制

（ツアーは25名ずつのグループに分かれて実施）

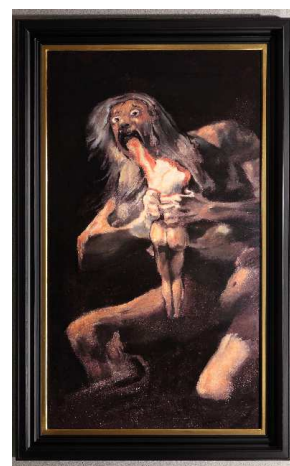
【申込み先】大塚国際美術館ウェブページよりメール、もしくは
電話088-687-3737まで

【参加費】無料（要入館料）

【集合場所】B3階 スクロヴェーニ礼拝堂（受付17：00～）



▲暗い館内を懐中電灯でご案内します



▲ゴヤ「わが子を食らうサトゥルヌス」

※美術館は17：00で通常閉館。申込者のみ館内に残ってご参加いただけます。懐中電灯持ち込み可。

◇ 大塚国際美術館とは ◇

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。約 4km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システイーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

- 住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
- TEL：088-687-3737
- FAX：088-687-1117
- <http://www.o-museum.or.jp/>
- 開館時間：9時30分から17時（入館は16時まで）
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）
正月明けに連続休館あり、8月無休
- 入館料：小・中・高生 540円 ※4/1より改定
大 学 生 2,160円
一 般 3,240円
*20名以上の団体は10%割引

●アクセス

関東から

羽田空港～徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約30分
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から

高速バス 大阪/神戸など～「高速鳴門」2時間10分/1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約15分
路線バス JR徳島駅より約60分、JR鳴門駅より約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
神戸淡路鳴門自動車道 鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行



《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 学芸部 土橋加奈子/山側千紘

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：info@o-museum.or.jp

※作品画像は全て当館の展示作品を撮影したものです